



2017/9/30(土) 坪内稔典ゼミ 俳句は敗北の詩か ×高柳重信

現代俳句協会創立70周年記念事業

現代俳句協会青年部 第154回 勉強会

俳句を徹底して“敗北の詩”と捉え、俳句の可能性を悲観視しながらそれゆえに深く俳句を愛した高柳重信。その重信が昭和22年に発表した「敗北の詩」をテキストに、坪内稔典さんと俳句のこれからについて、ゼミ形式で語り合います。自らの視座をどこに置くのかで、俳句はまったく違って見える。青春期に前衛俳句の濃密な空気に浸りながら、さらにライトヴァースへと展開した作家・ネンテン。俳句の革新者・正岡子規と語り合い続けてきた研究者・ネンテン。e船団「ねんてんの今日的一句」をはじめとして、現代俳句を鋭くえぐってきた批評家・ネンテン。そんなネンテンさんに見えている俳句と、私たちに見えている俳句とを、70年前の重信の言葉を介してぶつけ合ってみることで、俳句の今を考えてみたいと思います。俳句は敗北の詩か。それとも。

【日時】

2017年9月30(土)

13時～16時半

【会場】

あんさんぶる荻窪

第二会議室

(荻窪駅徒歩3分)

【参加費】500円

(学生無料)

【参加資格】参加後に

ミニレポートを提出

【要申込】定員30名

申込・問合せその他、以下「現代俳句協会青年部」まで、お気軽にご連絡ください。

genhai.seinenbu@gmail.com

TEL 03-3839-8190